



令和8年1月30日
荒川区立尾久宮前小学校
校長 岩崎 昇

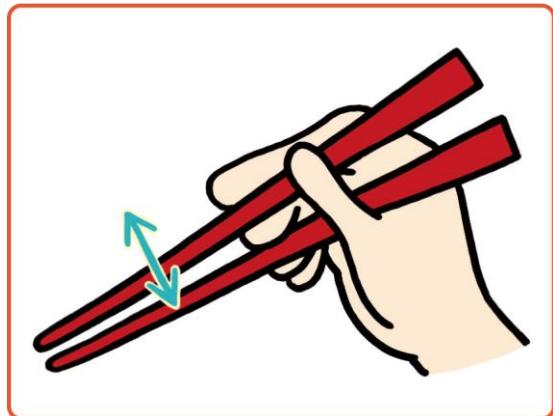
せつぶん よくじつ りっしゅん
節分の翌日は立春です。暦の上では春になりますが、まだまだ寒さは厳しい時季です。インフル
エンザやノロウイルスによる胃腸炎など、この時期に流行しやすい病気の予防には手洗い・うがい
を忘れずに、たっぷりすいみんをとって栄養バランスのとれた食事をとることが大切です。

はしを正しく持とう

はしをきちんと持って、使えるようにしましょう

正しいはしの持ち方

- 長さは手のひらより少し長いものを選び、真ん中より上方を持つ。
- 上のはしを中指と人差し指でえんぴつのように持つ。
- 下のはしは親指の根元と薬指の爪の横にのせる。
- 上のはしだけを動かし、下は動かさない。



やってはいけないはしの使い方

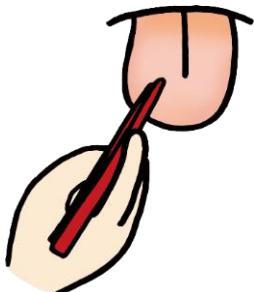
さしばし



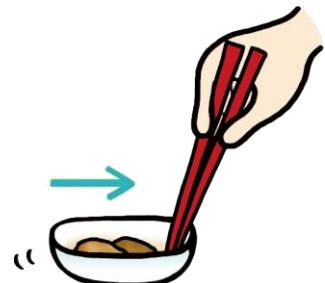
さぐりばし



ねぶりばし



よせばし



たの 楽しく会食をしよう

みんなで楽しく会食するためには、一緒に食べる人の気持ちになって考えることが大切です。周りの人が嫌がることや、迷惑になることをしないよう心配りをし、お互いに楽しく気持ちよく食事ができるようにしましょう。今月はとくに3つのマナーに気をつけましょう。できているか、ぜひごうちでも気にしてみましょう。



① 正しい姿勢で食べる



ひじをついたり、足を組んだり、食器を持たず
に犬食いをしたりすると、食べ物の消化に悪いだけでなく、「おいしくないのかな?」「食事を楽しめていないのかな?」と周りに思われてしまします。

② 口を開じてかむ



口を開いたままかんでいると、奥歯でしっかり食べ物をかみ砕くことができません。またクチャ音もして、周りの人を不快な気持ちにさせてしまいます。食べ物は口をしっかりと閉じてからかみ、話をするのは飲み込んでからにしましょう。

③ 食事中にふさわしい会話をする



食事をしているときに、汚いものが出てくる話や気持ちが悪くなってしまう話をしたり、突然、大声を出したり、騒いだりすると、周りの人がいやな気持ちになったり、びっくりして心地よく食べられなくなったりします。気をつけましょう。